



# 紺 碧

調布稲門会 会報

2022.7 第56号

年2回(1月、7月)発行

事務局 石田欽也方

Tel 080-1021-9105

Fax 042-487-6872

E-mail toumonkai@gmail.com

URL (HP) <https://tohmonchofu.jimdofree.com/>

編集責任者 潮田 健太郎

## 3年ぶりに対面で開催 - 第41回定期総会 -

### 会員47名が集う

副会長 浦田みちる(1983 理工)

5月21日(日)、2022年度(第41回)定期総会が、設立40周年記念事業の意義も込め、15時半より、調布クレストンホテル・クレストンルームで開かれました。コロナが終息していない状況下で、何度も協議を重ね、来賓は招待せず、万全の感染対策をとっての開催となりました。総会には、会員47名が出席。近況を語り合うなど、再会を喜ぶ姿が見られました。

総会は明石幹事の司会で始まり、山田会長が就任後初めての挨拶に立ち、活動の自粛期間中もコロナに対応した活動を工夫して行ってきたことを報告しました。今年度は地域ごとの交流を深め、ネットを活用した若い世代の交流も推進したいとの考えを示すとともに、五黄の寅年生まれのパワーで、調布稲門会の活動に取り組みたいとの抱負を語りました。

続いて、物故者への黙祷の後、山田会長が議長に選任され、2021年度活動実績報告/収支決算および監査

報告、2022年度活動計画/収支予算案/幹事・役員選任/会則改定などの議案を担当役員が説明し、出席者全員の賛成により可決されました。

議事では、徐々に再開している活動状況などが報告されました。また、今年度は、長期化するコロナ禍で疲弊した心身を癒すため、会員間の繋がりを深め、元気になれる活動計画を検討したこと、引き続きIT化の推進、地域貢献活動としてフードバンク調布への協力活動や学生応援フードパントリー調布活動などの取り組みを進めていくことが紹介されました。人事では、平成卒の役員・幹事が4名となるなど、若い推進力が期待されます。



## 新年度に寄せて 会長あいさつ

会長 山田和子（1974 文）

5月21日（土）に開催されました第41回総会にて皆様にご選任頂き、会長を務めさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

2020年と2021年度は書面総会に、そして例年の行事も全て自粛せざるを得ない2年半でした。その間に幹事、役員は若返り「会員相互の親睦」「大学の発展に寄与」「地域社会へ貢献」を念頭に、知恵を絞りながらコロナ対応の活動をして参りました。

昨年度は、設立40周年記念事業として、紺碧記念号、記念小冊子と記念品のおぼろガーゼタオルを皆様にお届けし、本年度は、盛大とはいきませんが、半年遅れの設立40周年祝いも兼ねた総会・懇親会の実施にこぎつけました。

皆様方の笑顔に触れ、制約はありましたが、実際にお会いする事の素晴らしさを再認識しました。徐々にコロナと共生しながらの活動が出来そうです。

2年前の会長就任時、会員一人一人が調布稲門会をオアシスと思って頂ける温かくかつ活気のある会作りをしたいと抱負を述べました。シニア男性も、女性も、若手も自然に集える会作りに精進いたします。



## 地域ごとに交流を深めた懇親会

浦田みちる

総会後は、多摩丘陵を見渡すクラウンルームに移動し、石田幹事長・川嶋幹事のフレッシュコンビによる司会で懇親会がスタートしました。今回は、新趣向として、地域の繋がりを深めたいと、住まいの近い会員が同テーブルになる配席で、アクリル板ごしでしたが、会話が弾みました。

開会挨拶、乾杯の後、田中大学総長と長友市長のお祝いメッセージが紹介されました。新入会員の自己紹介に続き、参加者全員の氏名が、テーブルごとに紹介されました。感染予防で移動と接触を最小限にするため、食事は着席、メニューは「すき焼き入り松花堂匠箱」の弁

当、みそ汁、デザートでした。飲み物は、ホテルスタッフに注文して運んでもらいましたが、持ち込みの“WASEDA ALUMNI 赤ワイン”が好評でした。稲門祭の紹介やフードバンク調布への支援のお願いも行われました。

また、プロのミュージシャンでもある、潮田副会長による、恒例のピアノサイタルでは、ハスキーでしっとりした弾き語りにも、皆聞き入りました。

宴もたけなわとなり、ビンゴゲームでは更に熱気が高まりました。

そして18時半、応援部OBの秋沢幹事のリードで、全員起立し、手振りしながら校歌を心で斉唱して懇親会を締めくくりました。帰りには、設立40周年記念の洋菓子のお土産が配られ、和やかな雰囲気うちに終了しました。



事は着席、メニューは「すき焼き入り松花堂匠箱」の弁

## 組織体制・機能の紹介

幹事長 石田欽也(1980商)

会の活動の運営・活性化のため、組織体制(委員会)を構築し、機能を明確にします。

組織活性化委員会・・・コロナ禍での会員サービス・会員増強のための企画実行を行う。

渉外委員会・・・稲門祭への参画・協力、記念品の購入・幹旋を通じて母校に寄与する。

地域貢献委員会・・・調布市を中心とした社会貢献活動に参画する。

広報委員会・・・機関誌「紺碧」とメルマガの発行、IT化を含めた広報活動の充実を図る。

会計委員会・・・収入(会費、広告費、組織強化補助費)に対する効果的な支出の検討を行う。

調布稲門会2022年度組織(委員会)体制

委員会名	組織活性化委員会	渉外委員会	地域貢献委員会	広報委員会	会計委員会
委員長	石田欽也	石田欽也	萩原稔	潮田健太郎	山田あかね
副委員長	潮田健太郎 涌田みちる 中谷俊一 天野凡子 嶋田浩一	山口泉	涌田みちる 嶋田浩一	原田敦夫	芦澤友雄
職務	各種名簿管理 【会員活動活性化推進】 同好会 キテネ 会員増強 【年間行事】 総会 新年会 観月会	【稲門祭】 サロン・ド・三多摩 記念品販売(校友会奨学金) 【校友会会議】 代議員会 会長会 幹事長会議 三多摩地区稲門会諸会合等 23区三多摩支部合同懇話会	福祉バザー フードバンク活動 多摩川クリーン作戦 野川クリーン作戦	機関誌『紺碧』発行学報投稿 【IT化推進】 Homepage Facebook	決算・予算 会費の徴収 紺碧広告 記念事業財源 組織強化費申請

## 同好会ニュース 「DISCOVER FOOD」スタート!!

山田和子

本年度より「女性の会」を、会員誰でもがお入り頂ける会「DISCOVER FOOD」と名称を変更し、さらに幅広い親睦の輪と活動の場を広げることにいたしました。

2005年5月に女性会員限定の「食・歩会」が誕生、その後2015年5月に「女性の会」と名称を変更し、現在まで活動を続けてきましたが、男女別の交流は時代的になじまなくなってきました。今後は垣根のない自由で自然な会員同士の交流の場としていきたいと考え、組織を変更いたしました。「女性の会」会員は、会員として継続されます。男性会員のご入会をお待ちしております。

(1) 食を楽しむ (2) 食を考える (3) 食で地域交流する

上記3項目をコンセプトに「食」を通して会員同士が繋がり、楽しみながら活動する会を目指します。(2)、(3)は、主に地域貢献委員会主催・協イイベントへの参加を考えています。

(1) 食を楽しむ 世界・日本の郷土料理、無国籍料理などを楽しむ。

レストランでの食事、文化施設などの見学。

ホームパーティ、オンライン飲み会、ワイン試飲会の実施。

LINEでのグループ交流。

(2) 食を考える 食と健康、食の安全、フードロスなどについて考えます。

(3) 食で地域交流する フードドライブ、学生応援フードパントリー、子供食堂などを通じ地域と交流します。



<問合せ&申込先>リーダー 山田和子 kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp / 042-488-0741

## 新企画 分散花見会

広報委員長 潮田健太郎 (1977 理工院)

長引くコロナ禍で調布稲門会としての活動も思うようにできない中、大人数の集中を避けた野外のイベントなら何とか開催できるのではないかと、山田会長の発案で企画されたのが、分散花見会。

調布市内の桜の名所である深大寺コース、野川コース、武蔵野の森公園コースの3か所に会場を分散するが、お互いの会場の様子をビデオチャットでリアルタ

イムで見せ合う事で、一体感も盛上がるという趣向。

天候と桜の咲き具合を睨んで4月2日に決行。これが大正解。各会場とも、お弁当・飲み物・敷物持参で、11時集合、昼食12時半頃とし、解散後はお茶会に流れる等は各会場の判断とした。各コース5~10名程度と程良い人数となり、お弁当もディスタンスをとって、感染防止に留意しつつも十分楽しむことができました。

左から、深大寺、野川、武蔵の森公園の各コース



## 地域貢献活動

### 春の多摩川クリーン作戦 担当幹事 関口憲三 (1969 商)

4月10日(日)、今回も近隣各自治体の方々、野球少年達等の参加で、河川敷は大盛況、市が用意したゴミ用トンブが不足する事態でした。プラゴミは去年より減ったが、たばこの吸殻や空カンなどが目立しました。

調布稲門会からの参加者は、山田会長、石田幹事長を始め12名。MYwasedaを見て参加したミャンマーからの留学生もいました。

声掛けをした調布三田会からは、池田幹事長ほか8



名が参加。昨年同様状況判断の上、残念ながらお茶会は中止とし9時に解散しました。

### 今期の地域貢献計画 地域貢献委員長 萩原稔(1980 教)

昨年、40周年記念事業の一つとして、「食」の社会問題の観点からフードバンク活動を立ち上げましたが、今年度はその基盤作りを推進します。具体的にはフードバンク調布に協力し、6月19日のフードドライブ活動(食料品の寄贈受け)に参加、7月には夏休みこどもプロジェクト(子供のいる生活困窮者家庭への食糧支援)に協力します。同好会のDISCOVER FOODとも連携し学生応援フードパントリー、セミナー、イベントの告知活動等も適宜実施していきます。

12月の福祉まつりは、ウィズコロナでの開催形式が未定ですが、バザー販売があるなら感染予防も踏まえコンパクトな形式での参加を計画し、また他に役務面での協力も検討します。恒例の多摩川及び野川クリーン作戦は従来通り実施、地域美化に努めます。今年も皆様の参加協力を通じて相互親睦も深めたいと思いますのでよろしくお願いします。

# 調布稲門人 第8回 「ガーデンデザイナー」

桑原貴子さん（1983年 社会科学部卒）

ガーデンデザインという仕事は、花や樹木の知識だけでなく、建築資材や石といった素材の特性や価格などの知識も要求され、加えて体力勝負という一面もあって、そこで働く人の多くは男性だそう。桑原貴子さんはそんな業界で長く経営者・クリエイターとして活躍している。

桑原さんの話を聞くと、転機には不思議な巡り合わせがあったように思われる。

まず、大学進学のことである。早稲田受験のきっかけは、「これ、使わないけどだれかいる？」というクラスメイトから、社会科学部の願書をもたらったことだそう。そんな経緯で元々は女子大志望だったが、結果として早稲田に進学することになった。「大学時代はソフトボールとアルバイトに明け暮れて全く勉強はしませんでした」と笑う。



次に仕事のことである。卒業後は結婚し、地方での生活を経て26年前に東京へ戻った。その頃にお母さんを亡くし、今後の人生の糧に悩んでいた時に思いついたのが、お母さんが大好きだった花を扱う仕事だった。丁度立ち上がったガーデンデザインスクールの一期生として学び卒業した時に、桑原さんが小金井に購入した家を建設した会社の社長から、その自宅のガーデンデザインの仕事の依頼を受けるという幸運にも恵



取材・構成 編集部・原田敦夫（1977法）

まれた。その後もフリーペーパーに広告を出す程度で、注文が入る状態が続いているという。ガーデンデザインの仕事は、受注後のメンテナンスを継続して行い、顧客とは息の長い付き合いをすることが多いため、色々と声が掛かって多忙な日々を過ごしている。

稲門会入会のきっかけも不思議な縁によるもの。偶然見かけた講座参加募集のチラシに「調布稲門会」と書かれており、「稲門会」という言葉が懐かしくて、思わずその連絡先にコンタクトを取ってしまったそう。その相手が山田会長だったのが運の尽き（？）で、お嬢さんの懇願を受けて練馬に転居したが、現在も調布稲門会の会員である。調布稲門会では「ボランティア活動が本当に楽しい」とのこと。今でも、交通の便がよく、多摩川の夕景が美しい調布がとても好きだそう。

一大決心をして起業したというよりも、自然体で仕事を続けているように見える桑原さんだが、仕事の質に対するこだわりは強く、コストとの攻め合いの中で、如何にクオリティを上げていくかということには、強い意思を持って取り組んでいる。それを達成するために、一緒に仕事をするのは、腕が確かで気心の知れた、長い付き合いの造園業者や大工さんに限られているという。現場にいるのが大好きで、まさか責任者と思われず、「よく、パートのおばさんに間違えられます」と笑う。ソフトボールで培われた周囲への気配りと柔らかな笑顔が、気の長いチームを維持して活躍を続ける要因になっているのだろう。



Before



After

今回取材に協力いただいたこまむら歯科クリニックさん。女性のお客さんを意識したエントランス回りというご依頼を見事に実現。西調布駅すぐですので、近くにいらした際は「見学」なさってください。



エントランスだけでなく建物周囲も花木で演出

My Favorite Things

常見宏一さん(理工学部 1981年卒)

# デジタルに移行して天体観測もバージョンアップ

編集部 川嶋菊枝(1983文)

常見さんの天体観測歴は、なんと早大学院地学部時代から47年。その経緯については『調布稲門会40周年記念誌』にご自身のエッセイがあります。今回は、そこにも登場する八ヶ岳南麓の観測所と最近の状況についてお聞きしました。

**編集部**(以下編): 大学卒業後、先輩たちと観測所を作ったそうですが、そこまでののは珍しいのでは?

**常見:** 観測所を建てた1986年頃は、それがブームだったんです。自分達もと、13、4人で資金を出し合

い、JR甲斐小泉駅近くに土地を借りて山林を切り開き、観測所を建て、個人ではとても持てない口径31センチの反射望遠鏡を据え付けました。3月のハレー彗星の回帰にちょうど間に合いました。

**編:** 観測所はどんな造りですか。

**常見:** 2階建てで、居室部分と望

遠鏡部分に分かれています。望遠鏡側の屋根をゴロゴロと移動して全開すると、360度の観測ができます。これだけ望遠鏡の口径が大きいと、淡い星雲や星団もはっきり見えて、きれいな写真を撮る事ができます。

**編:** 観測所はどの位の頻度で使われているのですか。

**常見:** この30年でやめる人もいて、今は7人ぐらいで使っています。リタイアした先輩方は、毎月のように平日にも行っているようですが、私はまだ仕事が忙しく、行けるのは年1、2回ぐらいです。

**編:** 撮影機材のデジタル化、電子化に乗り遅れたとのことですが、具体的にはどんなことですか。

**常見:** 例えば、星を点像に撮影するには、星の日周運動(地球の自転によって、天球上の恒星や天体が地球の周りをまわるように見える見かけの運動)に合わせてカメラを赤道儀に載せて、手で追尾して撮影していました。最近の望遠鏡とデジタルカメラなら、自動的に星を追尾して連続撮影ができます。また、銀塩カメ



常見さんがパソコンで合成した星の日周運動の画像。4千枚ぐらいの画像を合成している。



らは1枚で勝負なので、30分以上の露出をかけていましたが、デジタルカメラは2~3分の露出の画像をパソコンで何枚も合成して1枚にします。さらに画像処理のテクニックが色々あって、まだつ

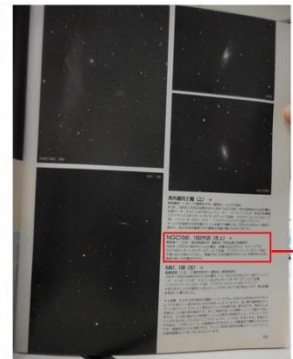
いていけない状態です。

**編:** 今後はどんなふうに観測を続けていきたいですか。

**常見:** 自宅にも1台望遠鏡を購入して、リタイアに備えて月や惑星を撮ってウォーミングアップをしています。

今後、見たい天文現象は、2035年の日本で起こる皆既日食や、オーロラです

ね。銀塩時代は、きれいに撮れた写真を天文雑誌などに投稿して掲載されることもよくありました。これからデジタルの技術を磨き、ほかの人が狙わないような天体を撮影して、また投稿したいと思います。



**NGC1042、1052付近(左)★**  
常見宏一(8点)(東京都調布市)撮影地・赤色巨星天体観測所  
1995年11月25日21時02分から40分露光 旭精光SE310F5.8 キヤノンFTD  
SEPWS+オートガイダーST-4にて追尾 フジカラースーパーGエース800  
\*春のおとめ座だけでなく、南極方向にも系外銀河のおもしろい写野があります。高度が低いのが難点ですが。

天文誌『スカイウォッチャー』(廃刊)1996年3月号に掲載の常見さんの写真。銀塩カメラ時代は、雑誌だけではなく天体写真展などにも入選。

**集まり散じてまた集まり 新入会員紹介** 敬称略 ご本人の希望により記載しない項目もあります

**伊藤 正美** 1979 理工修士 早稲田大学高等学院

趣味: 読書、日帰り温泉ドライブ

「NTTに勤めていました。今は週3回のアルバイトをしています。今読んでる本は「オウムアムアは地球人を見たか?」です。」

**岡村 和久** 1978 商 早稲田大学高等学院

趣味: ギター(ロックとブルースバンド)、スキー  
同好会: ゴルフ、可能なら音楽同好会いかがですか  
「多摩川在住。新宿生まれ中野育ち。レッドツェッペリンバンドの現役です。エレキでもアコギでもセッション可です。IT企業退職後、大学で教鞭を取っています。」

**加納 道章** 1975 商

趣味: テニス、ゴルフ、コーラス 同好会: テニス  
「ベルギーとニューヨークに約10年駐在しました。校友会に入会しましたが、その後、調布稲門会を紹介され、活発な活動を知り即入会しました。まだ勤務をしており活動にはなかなか参加叶いませんが、交流会や社会貢献など徐々に増やせればと思います。」

**鎌田 力** 1986 商 洛南高等学校(京都)

趣味: 映画鑑賞、読書 特技: 柔道(6段)  
同好会: 語ろうアースカフェ

「生まれ、育ちは京都府宇治市ですが、早稲田入学以降、基本東京生活です。社会人になってから約10年間は仕事でスペイン、アルゼンチンで過ごしました。家内が調布出身で、私も多摩川の風景が好きになり、結婚後住み続けています。」

**久我宣之** 1979 政経 愛知県立瑞陵高等学校

趣味: 旅行 読書 スポーツ観戦  
「コロナ禍がなかなか終息しませんが、自粛生活にもストレスが溜まる一方なので、感染対策に留意しつつ活動範囲を広げようと思っています。入会を機に、新しいチャレンジができたかと考えています。」

**栗澤 智幸** 1991 法 浅野高等学校(横浜市)

趣味: ラグビー観戦、ジョギング、湯治、飲酒(シングルモルト他) 特技: 芸無し  
同好会: ボランティア

「会員の皆様と親睦を深めつつ、当会と調布のため、少しでもお役に立ちたく存じます。」

**後藤 登紀子** (準会員)

趣味: ゴルフ  
同好会: カラオケ、テニス、語ろうアースカフェ

**佐藤 昌義** (準会員)

同好会: カラオケ

**菅野 由美** 1996 文 女子聖学院高等学校

趣味: 茶道・バレエ鑑賞 同好会: カラオケ

**瀬川雅紀** 1993 商 都立千歳丘高等学校

趣味: ボクシング観戦 同好会: カラオケ  
ボクシングと80年代アイドルをこよなく愛する会社員です。卒業後、現在に至るまで金融機関に勤務しており、転勤族生活をして参りました。生まれ育ったのは世田谷区ですが、4年前に調布に自宅を購入しました。宜しく願い致します。この4月から転勤となり福岡市に単身赴任しております。」

**谷田 昂宏** 2006 教 東亜学園高等学校

趣味: ゴルフ、フットサル、サッカー・野球観戦  
「卒業後、早稲田の縦の繋がりを作る機会がありませんでしたので、私が育った調布の稲門会に参加させて頂き、色々な繋がりが作れば嬉しいです。」

**千村明弘** 2000 商 神奈川県立市ヶ尾高等学校

趣味: 酒蔵巡り 特技: 全国転勤  
同好会: テニス

「神奈川県横浜市出身ですが、妻の地元調布市に居を構えたことにより入会させていただきました。仕事柄、全国各地を転勤し現在、東の間の調布生活ですが、みなさまとお近づきになれば幸いです。」

**松居 秀行** 1970 年理工 早稲田大学高等学院

趣味: 旅行、ハイキング  
**深田 大久** 2017 年文研 鳥取県立鳥取東高等学校  
趣味: アマチュア野球観戦、相撲観戦、歴史や哲学の本の読書、史跡や博物館巡り、映画鑑賞  
同好会: 語ろうアースカフェ

「学部と修士では西洋史をやっておりました。教育学部→文学研究科で、本キャンと文キャンのハイブリッドです!」

西川 由希子 2016年国際 晃華学園高等学校

趣味: カフェ巡り、ボードゲーム、

日本語を教える事

「昨年イギリス人と結婚をし、現在イギリス南西部ブリストルに住んでおります。なかなかお会いできる機会はないかも知れませんが、イギリスの現状などお伝えできたらと思っております。」



昨年末送付した、入会勧誘のQRコード付き葉書で入会された西川さん。このほど一時帰国されたので、5月10日にウェルカムランチ会を府中市にあるロシア料理店「ペチカ」で行いました。今後西川さんからの英国よもやま話も楽しみです

(山田和子 記)

### 名誉会長林貞夫さんの逝去を悼む

山田和子

2月8日、初代会長林貞夫氏がご逝去されました(享年95歳)。慎んでご冥福をお祈り致します。  
林さんは、調布稲門会設立に奔走され、設立より18年間会長を務められた当会のレジェンドです。社会福祉協議会会長としてもご活躍で、当会は三多摩地区稲門会で初めて地域貢献事業(福祉バザー参加)を開始、その伝統は現在も更に拡がりのある活動に繋がっています。また兄和男氏と共に調布リトルリーグにも長年貢献されてきました。  
設立40周年を迎えるに当たり、昨年5月2日、林さんと初めてでまた最後となった電話対談を行いました(「紺碧」第54号 調布稲門会設立40周年記念号に掲載)。林名誉会長は、最後の早慶戦の思い出などを語り、最後に「自分ができることは、これからもできるだけ稲門会の行事に出席することです」と話されました。コロナ禍で行事を開催できず、ご参加頂く機会を作れなかったのが残念です。

<編集後記> 稲門会入会后、すぐに新型コロナの流行が始まり、今回、初めて総会に参加しました。3年ぶりの対面での開催ということで、幹事も参加される方々も、じかに会える喜びをかみしめているようでした。早くコロナの流行が終息して、同好会や「キテネ」の活動などが再開され、その様子を誌面でお伝えできるようになることを願っています。(川嶋菊枝記)

<p>深大寺そば 創業文久年間 ご宴会・俳句会・御法事</p> <p><b>元祖 嶋田家</b></p> <p>住所 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町5-12-10 電話 042-482-3578 FAX 042-499-6655</p>	<p>「語ろうアースカフェ」代表 <b>山田和子</b> (調布稲門会会長)</p> <p>自宅 〒182-0035 東京都調布市上石原3-39-15 電話 042-488-0741 E-mail: <a href="mailto:kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp">kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp</a></p>	<p><b>林建設株式会社</b> 取締役社長 <b>林 清一</b></p> <p>住所 〒182-8512 東京都調布市小島町2-56-3 電話 042-486-1111 FAX 042-486-1120</p>
<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装</p> <p><b>株式会社住まいるスズキ</b></p> <p>代表取締役 <b>鈴木光孝</b> 〒182-0023 東京都調布市染地3-5-65 電話 0120-080-242</p>	<p>新技術 UV プリント 立体物などにフルカラーでダイレクト印刷 記念の贈答品やオリジナル製品をお求めの方に 名刺・ショッピングカード・ポストカード 記念誌・自費出版・アルバム等</p> <p><b>印刷 株式会社 内田平和堂</b></p> <p>☎03-3300-7301</p>	<p>イベント・パーティー <b>(株)正直屋グループ</b></p> <p>住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-7-10 電話 03-3853-1171 FAX 03-3853-1493 <a href="http://www.shojikiya.co.jp/">http://www.shojikiya.co.jp/</a></p>
<p>相続を争族にしないために、 公正証書遺言をお勧めします。</p> <p><b>行政書士堀内綜合法務事務所</b> 行政書士 堀内正之</p> <p>〒182-0035 東京都調布市上石原3-12-8 電話・FAX 042-499-1300 HPは「調布 行政書士 堀内」で検索</p>	<p><b>舟久保法律事務所</b> 弁護士 <b>舟久保 賢一</b></p> <p>住所 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-8 親和ビル5階 電話 03-6273-7917 FAX 03-6273-7918</p>	<p>宿泊・宴会・婚礼 <b>調布クレストンホテル</b></p> <p>住所 〒182-0026 調布市小島町1-38-1 調布バルコ8~10F 電話 042-489-5000 FAX 042-489-1106 <a href="http://www.crestonhotel.jp">http://www.crestonhotel.jp</a></p>
<p>早稲田大学賛助商議員 調布稲門会 顧問 <b>元木 勇</b></p> <p>自宅 〒182-0003 調布市若葉町2-22-10 電話 03-3300-4554 FAX 03-3300-8728</p>	<p>新しい食文化を創る <b>株式会社山田屋本店</b> 代表取締役社長 <b>秋沢 淳雄</b></p> <p>住所 〒182-0024 東京都調布市布田2-1-1 電話 042-482-4585 FAX 042-482-4572 <a href="http://www.okomekan.net/">http://www.okomekan.net/</a></p>	<p>～～個人の方も法人の方も～～ <b>明石会計事務所</b> 税理士 <b>明石 純一</b> 〒182-0026 東京都調布市小島町2-46-5 電話 042-486-6545 FAX 042-486-6123 <a href="https://www.akashi-office.jp">https://www.akashi-office.jp</a></p>